

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

社是
企業を通じてよりよい社会を建設しよう

営業利益
150億円

売上高営業利益率
5.9%

ROIC
4.8%

ものづくり大改革営業
30億円

② 中長期の経営戦略

1. 基盤事業の見直し

高吸水性樹脂事業から撤退。ウレタン事業はジャパンポリオールLLPによるコスト低減と差別化。ものづくり大改革で構造改革を推進

2. 基盤事業からの展開

カーボンニュートラルとQOL向上に貢献する注力5製品群を高付加価値製品として位置付け、研究開発と設備拡充に投資

3. 新たな成長軌道

シルクエラスチン創傷用シートの販売や食・医療分野の新規ビジネス（匂いセンサー、農業資材用ペプチド、陸上養殖等）を推進

4. グローバル展開

米国市場でのシルクエラスチン事業化とマーケティング推進。アメリカ・インド市場を中心としたグローバルマーケティング強化

③ 対処すべき課題

① 中国の競争環境激化

- 中国からの安価なポリウレタンフォーム原料流入による価格競争
- 基礎化学品増産による日本化学業界への不可逆的な影響に対応
- 汎用品から高付加価値製品へのポートフォリオ転換が必要

② 収益力向上の課題

- 2025年度営業利益目標を100億円に引き下げ、150億円達成を延期
- ウレタン事業は構造改革効果の発現に時間がかかる見込み
- 高付加価値製品の拡販が若干想定を下回る

③ 事業ポートフォリオの高度化

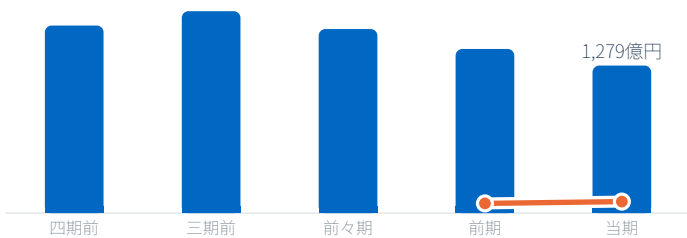
- 生産設備の統廃合・集約化による最適生産体制構築
- 他社とのアライアンス検討による競争力強化
- 新研究棟建設と研究開発力強化の具体化

面で使えるポイント

- WakuWaku Explosion 2030のもと、カーボンニュートラルとQOL向上を軸に新中計2025で事業ポートフ…
- 中国の基礎化学品増産という不可逆的な環境変化に対し、汎用品から高付加価値製品への転換を加速している点
- シルクエラスチン創傷用シートの米国事業化や、匂いセンサー・陸上養殖など食医療分野の新規ビジネスに注力

証券コード 4471

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,279億円営業利益率
7.8%財務健康度
60点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 60.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
822万円

化学内 36位/204社

平均年齢
42.9歳

化学内 82位/204社

平均勤続
18.6年

化学内 28位/204社

女性管理職
5.6%

化学内 106位/173社

男性育休
102.5%

化学内 8位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 三洋化成工業[4471]: コーポレート・ガバナンスに関する報

